

October 20, 2020

【前日の為替概況】ユーロ堅調推移、対ドル 1.1794ドル、対円 124.34円

19日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは続伸。終値は1.1769ドルと前営業日NY終値(1.1718ドル)と比べて0.0051ドル程度のユーロ高水準だった。中国の景気底入れ観測が支えとなる中、時間外のダウ先物が上昇したことを受けてリスク選好のドル売りが先行。現物のダウ平均が一時100ドル超上昇したこともユーロ買い・ドル売りを誘い、23時30分前に1.1794ドルと日通し高値を付けた。ただ、米国株相場が失速するとドル売りの勢いは後退し、一時1.1765ドル付近まで下押しした。

なお、高く始まったダウ平均は米追加経済対策を巡る与野党協議が難航しているとの観測から一時460ドル超下げた。大手米紙の記者が「交渉は成立しそうに見えない」とツイートしたことも嫌気されて、株式の売りを誘った。

ドル円は小反発。終値は105.43円と前営業日NY終値(105.40円)と比べて3銭程度のドル高水準だった。対ポンド中心にドル売りが先行すると一時105.30円と日通し安値を付けたものの、ユーロ円などクロス円の上昇につれた円売り・ドル買いが出ると持ち直した。米国株が失速し、ドル売り圧力が後退すると105.49円付近まで戻した。10月米NAHB住宅市場指数が85と予想の83を上回り、過去最高を更新したことも相場の支援材料。

もともと、今日1日の値幅は20銭程度と小さかった。米追加経済対策の行方や米大統領候補討論会など重要イベントを前に動きづらい面もあったようだ。

ユーロ円は続伸。終値は124.10円と前営業日NY終値(123.48円)と比べて62銭程度のユーロ高水準。ユーロドルの上昇につれた円売り・ユーロ買いが出たほか、米国株が高く始まったことが相場の下支え要因となり、一時124.34円と日通し高値を更新した。ただ、米国株が失速すると買いの勢いは後退し、124円台前半で伸び悩んだ。

ポンドドルは上値が重かった。英国と欧州連合(EU)の通商交渉が継続され、決裂は回避されるとの思惑がポンド買いを促し23時前に一時1.3025ドルと日通し高値を付けたものの、離脱交渉は依然として不透明なため一本調子で上昇する展開にはならなかった。ゴープ英内閣府担当相は「EUとの交渉は無意味」「合意に至る根拠がない」とした一方、「バルニエEU首席交渉官とフロスト英首席交渉官は集中的協議と法的文書作成に合意した」と発言したが、英政府は「交渉担当官の協議は建設的だった」としながらも「EUとの通商交渉を再開する根拠は依然としてないと確信している」との見解を示した。米国株の下落に伴うリスク・オフのドル買いも入り、一時1.2937ドル付近まで下押しした。

【本日の東京為替見通し】ムニューシン米財務長官とペロシ米下院議長の電話協議に要注目

本日の東京外国為替市場のドル円は、22日に開催予定の第2回米大統領候補討論会に向けて動きづらいつ展開の中、ムニューシン米財務長官とペロシ米下院議長の電話協議からの報道に要注目となる。

ドル円のオーダー状況は、上値には、テクニカルポイントである一目均衡表・転換線(過去9日間の高値・安値の中心値)105.57円付近の105.50円(21日のNYカットオプション)と105.60円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、一目均衡表・基準線(過去26日間の高値・安値の中心値)105.06円付近の105.10円と105.00円(21日NYカットオプション)にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

ペロシ米下院議長は、追加景気対策法案を巡り、米大統領選前の合意期限を本日20日に設定しており、ムニューシン米財務長官と米東部時間19日の午後3時から電話協議を再開する、と報じられており、関連ヘッドラインに要警戒となる。ペロシ下院議長は、追加経済対策についてトランプ政権と意見の相違がなおあるが、11月3日の大統領選までの成立を楽観していると述べている。メドウズ大統領首席補佐官も、「われわれは引き続き交渉とともに可及的に速やかな合意成立の実現に尽力する。ペロシ議長が合理的になれば、大統領も合理的になり、何らかの成果を得られるだろう」と述べている。

民主党案は2.2兆ドル、共和党案は1.8兆ドルだが、トランプ米大統領が1.8兆ドルを超える追加景気対策法案を容認すると示唆しており、大統領選挙に向けて両者の妥協も期待されている。

9時30分に発表される10月豪準備銀行(RBA)理事会議事要旨では、ロウRBA総裁が0.10%までの政策金利引き下げやマイナス金利の導入に言及していることで、同様のハト派的な見解が予想されている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

特になし

<海外>

- 09:30 ◎ 10月豪準備銀行（RBA）理事会議事要旨
- 15:00 ◇ 9月独生産者物価指数（PPI、予想：前月比▲0.1%）
- 17:00 ◇ 8月ユーロ圏經常収支（季節調整済／季節調整前）
- 18:30 ◎ ブリハ英中銀金融政策委員会（MPC）委員、講演
- 20:50 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演
- 21:30 ◎ 9月米住宅着工件数（予想：145.7万件、前月比2.9%）
◎ 建設許可件数（予想：152.0万件、前月比3.0%）
- 23:50 ◎ クオールズ米連邦準備理事会（FRB）副議長、講演
- 21日 01:00 ◎ 9月ロシア失業率（予想：6.4%）
- 21日 02:00 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、講演
- 21日 04:00 ◎ ブレイナードFRB理事、講演
- 21日 06:00 ◎ ポスティック米アトランタ連銀総裁、講演

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

19日 08:46 トランプ米大統領
「コロナワクチンは間もなく準備できるだろう」

19日 11:13 中国国家统计局
「中国経済は依然回復プロセスにある」
「国際環境は依然複雑で深刻、不安定と不透明感がかなり強い」

19日 14:33 ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁
「新たなコロナ制限のなかで回復の勢いが衰えるリスクがある」
「政策手段のオプションは使い切っていない」
「必要であれば更なる政策を実施する」

19日 15:25 ジェンリック英住宅相
「欧州連合(EU)は柔軟性を示すべきだ」
「合意なき離脱は望んでいないが、準備をしなくてはならない」
「扉はまだ少し開いている」

19日 19:15 ホルツマン・オーストリア中銀総裁
「ウイルス危機の中だが、さらに緩和する必要はまだない」
「しかし、危機が悪化した場合は、さらに緩和が必要になる可能性があるだろう」

19日 21:23 パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長
「FRBはデジタル通貨を発行する決定をしていない」
「私たちは細心の注意を払ってこの問題に取り組んでいる」

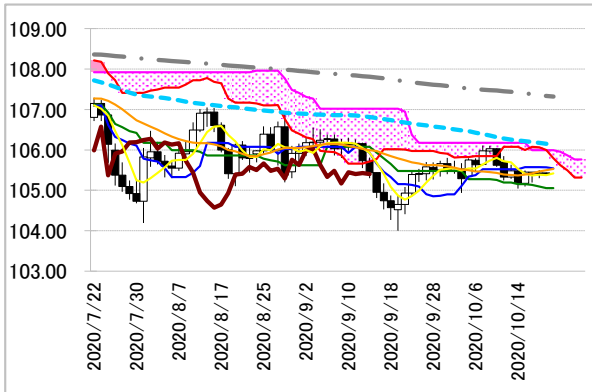
19日 23:43 ゴープ英内閣府担当相
「欧州連合(EU)との交渉は無意味」
「合意に至る根拠がない」
「EUは根本的に変わる必要」
「バルニエEU首席交渉官とフロスト英首席交渉官は集中的協議と法的文書作成に合意」

20日 01:36 英首相報道官
「バルニエEU首席交渉官とフロスト英首席交渉官との交渉は建設的だった」
「EUとの通商交渉を再開する根拠は依然としてないと確信」

20日 03:23 ボスティック米アトランタ連銀総裁
「広範囲にわたる恒久的な失業は経済にリスクをもたらす」
「現在の政策スタンスに満足」
「景気は回復しているが、一部セクターは依然として弱い」
「FRBが利上げを行い、支援を解除するには当面時間がかかる」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

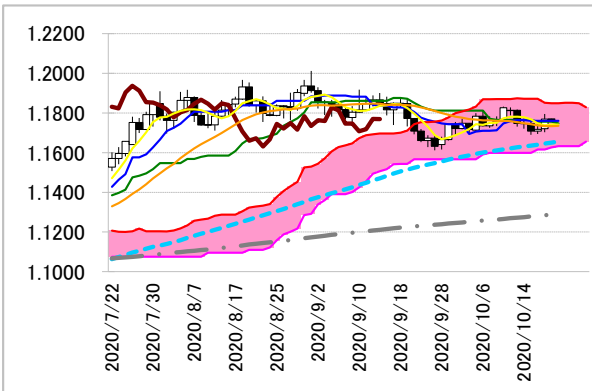


<ドル円=雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

小陽線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。小陽線で反発したものの、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	105.99(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	105.43
サポート1	104.94(10/2 安値)
サポート2	104.00(9/21 安値)

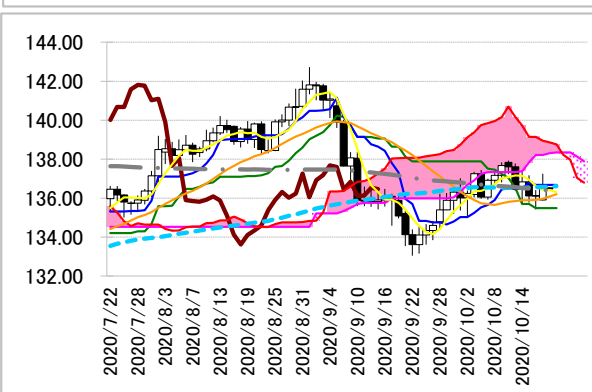


<ユーロドル=10/15 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けているものの、転換線を上回って引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。2手連続陽線で、転換線を上回って引けたことで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、10月15日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1848(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1769
サポート1	1.1689(10/15 安値)

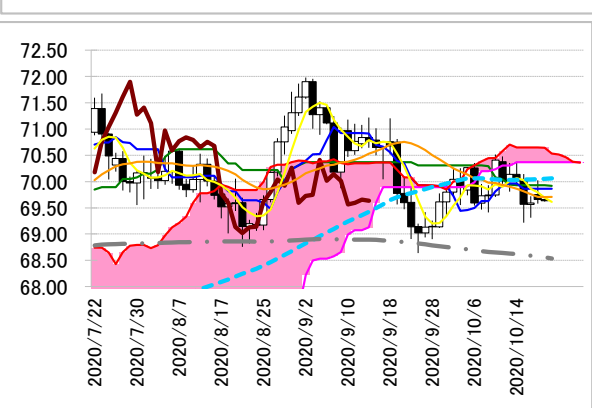


<ポンド円=10/19 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けているものの、買いシグナルが優勢な展開となっている。しかし、2手連続陽線で反発したが、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、10月19日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	137.25(10/19 高値)
前日終値	136.53
サポート1	135.42(10/16 安値)



<NZドル円=雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。被せ線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	70.37(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	69.66
サポート1	69.22(10/15 安値)

